

# 八尾市国民健康保険 特定健康診査等実施計画



## 第 1 期（改訂版）

平成 2 0 年度(2008 年度) ~ 平成 2 4 年度(2012 年度)

平成 2 3 年(2011 年) 6 月

八尾市



# 目次

第1章 計画策定の意義	1
1. 背景及び趣旨	1
2. 本計画の法的位置づけ	2
3. 計画の期間	2
第2章 現状分析	3
1. 人口、国保被保険者の状況	3
2. 特定健康診査等の状況	5
1) 特定健康診査受診率の推移	5
2) 特定健康診査の受診状況	6
3) 特定保健指導の利用状況	8
4) 特定健康診査結果からみえる国保被保険者の健康状況	12
5) 今後の課題	16
3. 死因状況	17
1) 死因別人数と割合	17
2) 今後の課題	17
4. レセプト（診療報酬明細書）からみる疾病別状況	18
1) 虚血性心疾患、脳血管疾患等の状況	18
2) 生活習慣病の状況	18
3) 糖尿病の状況	19
4) 高血圧の状況	21
5) 脂質異常症の状況	22
6) 人工透析の状況	24
7) 今後の課題	25
第3章 特定健康診査等の実施及び目標に関する事項	26
1. 特定健康診査等の実績及び目標	26
1) 特定健康診査・特定保健指導対象者等の年度推計総括表(平成20年3月度推計)	26
2) 特定健康診査・特定保健指導実績及び目標(平成23年6月推計)	27
3) 性別・年齢別の特定健康診査対象者数の推計	28
4) 性別・年齢別の特定健康診査受診者数の推計	28
5) 性別・年齢区分の特定保健指導階層別対象者数の推計	28
6) 性別・年齢別の特定保健指導実施者数の推計	29
2. 特定健康診査の実施方法	30
1) 対象者	30
2) 健診項目	30

3 ) 実施場所 .....	32
4 ) 受診方法 .....	32
5 ) 利用者負担 .....	32
6 ) 実施時期 .....	32
7 ) 他の健診との同時実施について .....	32
3 . 特定保健指導の実施方法 .....	33
1 ) 対象者 .....	33
2 ) 実施内容 .....	33
3 ) 利用方法 .....	34
4 ) 実施場所 .....	34
5 ) 利用者負担 .....	34
6 ) 実施期間 .....	34
4 . 受診率向上の取組み .....	35
1 ) 広報啓発活動 .....	35
2 ) 未受診者への受診勧奨 .....	35
3 ) 年度途中加入者への働きかけ .....	35
4 ) 事業実施体制の強化 .....	35
5 . 個人情報の保護に関する事項 .....	36
1 ) 費用決済、データの授受及び管理について .....	36
2 ) 個人情報保護対策 .....	36
6 . 特定健康診査等実施計画の公表及び周知 .....	36
7 . 特定健康診査等実施計画の評価 .....	37
1 ) 目標の達成状況の評価 .....	37
2 ) 事業の評価 .....	37
( 参考資料 ) .....	38

## 第1章 計画策定の意義

### 1. 背景及び趣旨

急速な人口の高齢化に伴って疾病構造も変化し、疾病全体に占める心疾患、脳血管疾患、糖尿病、がん等の生活習慣病の割合は年々増加しており、国民医療費に占める生活習慣病の割合は3割強にのぼっています。

国においては、国民医療費の増大に適切に対処する観点から、医療制度改革大綱の基本的な枠組みの一つに生活習慣病対策推進体制の構築が盛り込まれ、医療費適正化の総合的な推進に向けて、平成20年(2008年)4月から医療保険者への特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられ、現在まで推進しています。

本市においては、平成15年度(2003年度)に「健康日本21八尾計画」を策定しました。また、平成22年度(2010年度)には目標の達成状況の評価を行い、次期計画として「健康日本21八尾第2期計画」を策定し、また、あわせて本市における健康づくりや食育活動の施策を総合的に推進するため、「八尾市食育推進計画」を策定し、健康施策の推進を図るなど様々な健康づくり事業の取り組みを推進しているところです。

国保被保険者に対しても、医療費の伸びの要因となっている糖尿病・高血圧・脂質異常症等の発症予防や重症化及び合併症への進行の予防に重点を置きながら、生涯にわたる生活の質の維持向上に向けて、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した特定健康診査・特定保健指導の推進を図り、また、平成24年度(2012年度)に向けて特定健康診査の受診率、及び特定保健指導実施率(以下、利用率という)の向上を目指した取り組みを行っているところです。

本計画は、以上の趣旨を踏まえ、平成20年(2008年)3月に八尾市国民健康保険被保険者を対象として策定された「八尾市国民健康保険 特定健康診査等実施計画」の進捗状況を把握し、実績を踏まえて計画を見直すとともに、特定健康診査及び特定保健指導を効果的かつ効率的に実施するため、当該事業の実施に係る基本的な事項、並びにその目標に関する事項等について定めるものです。

## 2 . 本計画の法的位置づけ

「高齢者の医療の確保に関する法律」(昭和57年(1982年)法律第80号)第19条で規定されている、厚生労働大臣の定める「特定健康診査等基本指針」に即して、特定健康診査等の実施に関して定める計画として策定します。

また、この計画は、「健康日本21八尾第2期計画」「医療費適正化計画(\*)」及び「第5次八尾市総合計画」と十分な整合性を図るものとして策定します。

\* 医療費適正化計画とは、中長期的な医療費の適正化に向けて、生活習慣病予防等の健康の保持や医療の効率的な提供を行うために、平成20年度(2008年度)を初年度として国・大阪府が策定する計画です。

## 3 . 計画の期間

「八尾市国民健康保険 特定健康診査等実施計画」は、平成20年度(2008年度)から平成24年度(2012年度)までの5年を一期として策定されたものです。

この計画は平成20年度(2008年度)から平成22年度(2010年度)の実績を踏まえ、平成23年(2011年)6月にその進捗状況を検証、評価し、改訂を行ったものです。

## 第2章 現状分析

### 1. 人口、国保被保険者の状況

本市の平成23年(2011年)3月末時点の国民健康保険被保険者(以下、「国保被保険者」という。)数は79,681人、総人口に占める国保加入率は29.3%となっています。

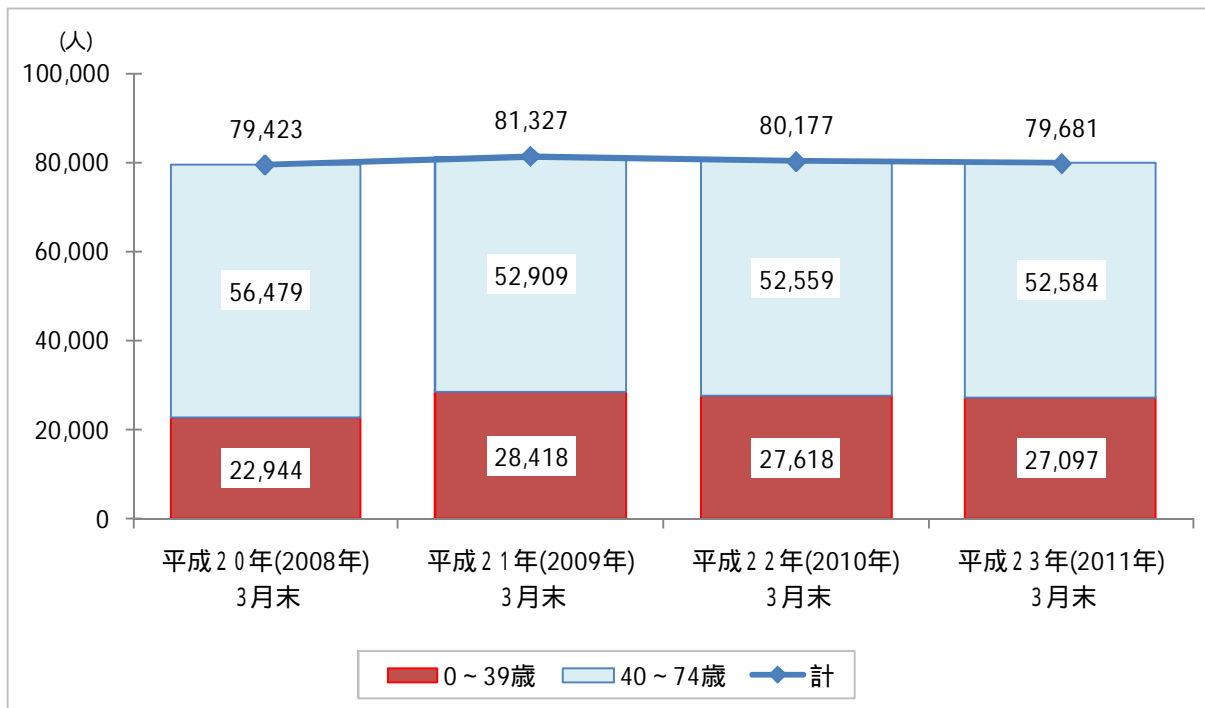
ここ4年間の国保被保険者数は、平成21年(2009年)3月末以降わずかですが減少傾向を示しています。

【平成22年度(2010年度) 総人口に占める国保被保険者数】

	総人口 (人)	被保険者数 (人)	国保加入率 (%)	40～74歳(再掲)
				被保険者/人口
全体	271,505	79,681	29.3	39.3
男性	131,088	38,266	29.2	43.1
女性	140,417	41,415	29.5	41.3

平成23年(2011年)3月末現在

【国保被保険者数の推移】



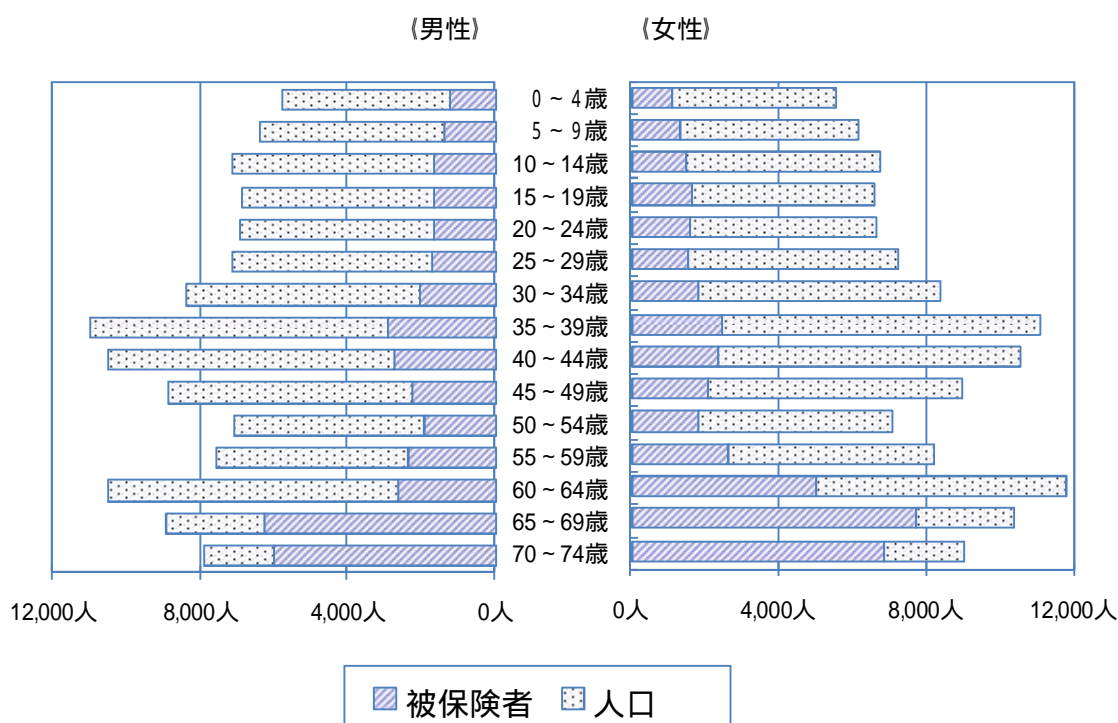
【性別・年齢別の人口、国保被保険者数、国保加入率】

	人口 (男女合計) (人)	男性(人)			女性(人)		
		人口	被保険者	国保加入率 (%)	人口	被保険者	国保加入率 (%)
75歳以上	26,219	10,104	-	-	16,115	-	-
70～74歳	16,901	7,883	5,974	75.8	9,018	6,837	75.8
65～69歳	19,306	8,927	6,251	70.0	10,379	7,732	74.5
60～64歳	22,320	10,521	2,633	25.0	11,799	4,991	42.3
55～59歳	15,828	7,591	2,380	31.4	8,237	2,617	31.8
50～54歳	14,155	7,088	1,916	27.0	7,067	1,812	25.6
45～49歳	17,833	8,872	2,269	25.6	8,961	2,102	23.5
40～44歳	21,055	10,501	2,715	25.9	10,554	2,355	22.3
35～39歳	22,077	11,004	2,920	26.5	11,073	2,470	22.3
30～34歳	16,773	8,411	2,046	24.3	8,362	1,827	21.8
25～29歳	14,403	7,162	1,682	23.5	7,241	1,538	21.2
20～24歳	13,527	6,903	1,648	23.9	6,624	1,576	23.8
15～19歳	13,438	6,858	1,628	23.7	6,580	1,633	24.8
10～14歳	13,849	7,129	1,622	22.8	6,720	1,492	22.2
5～9歳	12,487	6,362	1,357	21.3	6,125	1,312	21.4
0～4歳	11,334	5,772	1,225	21.2	5,562	1,121	20.2
合計	271,505	131,088	38,266	29.2	140,417	41,415	29.5

平成23年(2011年)3月末現在

75歳以上は後期高齢者医療制度に加入

【平成22年度(2010年度)性別・年齢別の人口に占める国保被保険者数】

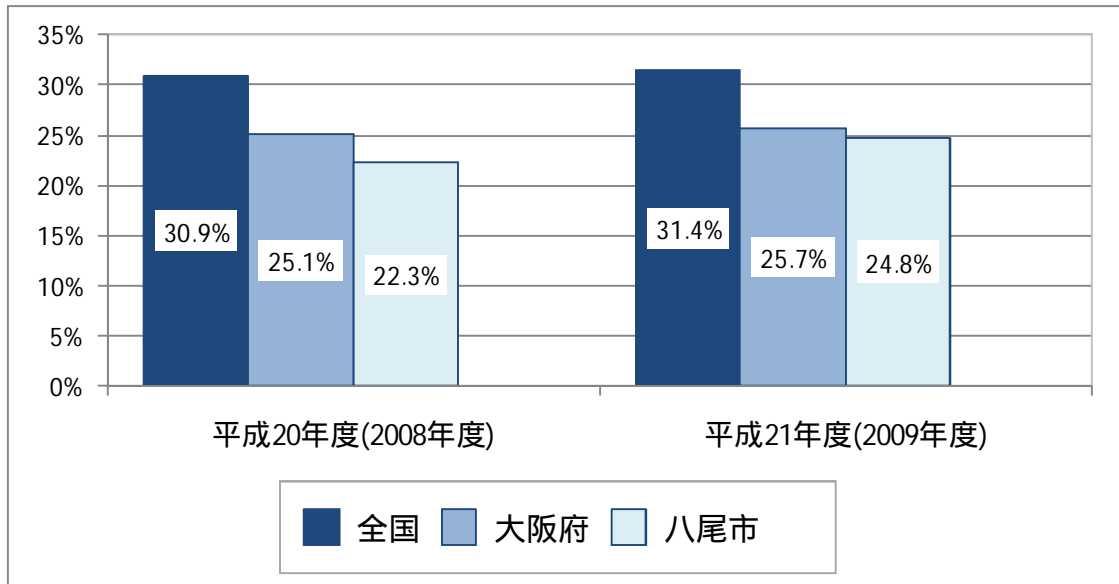


## 2. 特定健康診査等の状況

### 1) 特定健康診査受診率の推移

特定健康診査の受診率の推移をみると、平成20年度(2008年度)は22.3%と全国、大阪府を下回っていますが、平成21年度(2009年度)は24.8%と2.5ポイント上昇しており、大阪府平均に近づいています。

【特定健康診査受診率の推移】



## 2) 特定健康診査の受診状況

### (1) 平成20年度(2008年度)の性別・年齢別の特定健康診査受診者の状況

平成20年度(2008年度)の国保被保険者40～74歳の特定健康診査受診者数は、11,749人(対象者数52,804人)、受診率は22.3%となっており、年齢別にみると40歳代、50歳代の受診率が低くなっています。

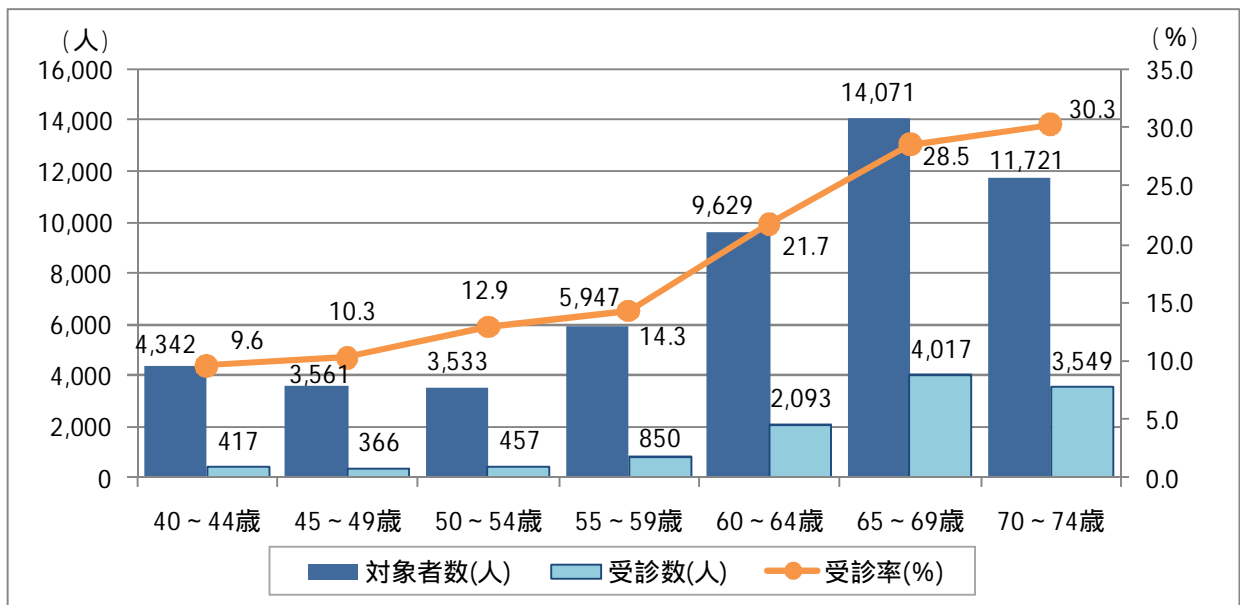
性別では、男性18.8%、女性25.2%と女性より男性の受診率が低く、その差は6.4ポイントとなっています。

【平成20年度(2008年度) 性別・年齢別の特定健康診査受診状況】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
40～44歳	2,358	214	9.1	1,984	203	10.2	4,342	417	9.6
45～49歳	1,901	188	9.9	1,660	178	10.7	3,561	366	10.3
50～54歳	1,728	189	10.9	1,805	268	14.8	3,533	457	12.9
55～59歳	2,767	287	10.4	3,180	563	17.7	5,947	850	14.3
60～64歳	4,008	649	16.2	5,621	1,444	25.7	9,629	2,093	21.7
65～69歳	6,446	1,589	24.7	7,625	2,428	31.8	14,071	4,017	28.5
70～74歳	5,461	1,529	28.0	6,260	2,020	32.3	11,721	3,549	30.3
合計	24,669	4,645	18.8	28,135	7,104	25.2	52,804	11,749	22.3

平成20年度(2008年度)法定報告より

【平成20年度(2008年度) 年齢別の特定健康診査受診状況】



(2) 平成21年度(2009年度)の性別・年齢別の特定健康診査受診者の状況

平成21年度(2009年度)の国保被保険者40～74歳の特定健康診査受診者数は、13,060人(対象者数52,674人)、受診率は24.8%と前年度に比べ2.5ポイント増加しており、年齢別にみると、すべての年齢層で前年度を上回っています。しかしながら、平成21年度(2009年度)の受診率目標35%(P26参照)を上回っているのは65～69歳の女性のみとなっています。

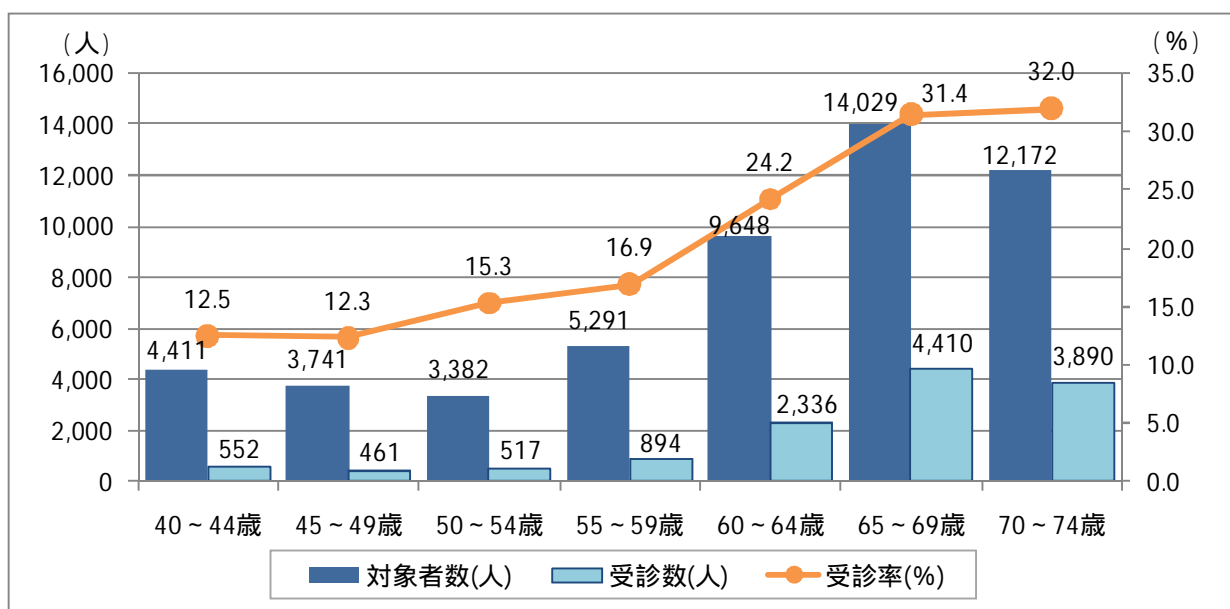
性別では、男性21.0%、女性28.1%と前年に比べ男性は2.2ポイント、女性は2.9ポイント増加しているものの、男女の差は7.1ポイントと拡大しています。

【平成21年度(2009年度) 性別・年齢別の特定健康診査受診状況】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
40～44歳	2,396	273	11.4	2,015	279	13.8	4,411	552	12.5
45～49歳	1,998	219	11.0	1,743	242	13.9	3,741	461	12.3
50～54歳	1,705	214	12.6	1,677	303	18.1	3,382	517	15.3
55～59歳	2,387	307	12.9	2,904	587	20.2	5,291	894	16.9
60～64歳	4,048	748	18.5	5,600	1,588	28.4	9,648	2,336	24.2
65～69歳	6,296	1,699	27.0	7,733	2,711	35.1	14,029	4,410	31.4
70～74歳	5,687	1,691	29.7	6,485	2,199	33.9	12,172	3,890	32.0
合計	24,517	5,151	21.0	28,157	7,909	28.1	52,674	13,060	24.8

平成21年度(2009年度)法定報告より

【平成21年度(2009年度) 年齢別の特定健康診査受診状況】



### 3) 特定保健指導の利用状況

#### (1) 平成20年度(2008年度)の性別・年齢別の特定保健指導の利用状況

平成20年度(2008年度)の国保被保険者40～74歳の特定保健指導利用者数は、37人(対象者数1,763人)、利用率は2.1%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに利用率は2.1%となっています。

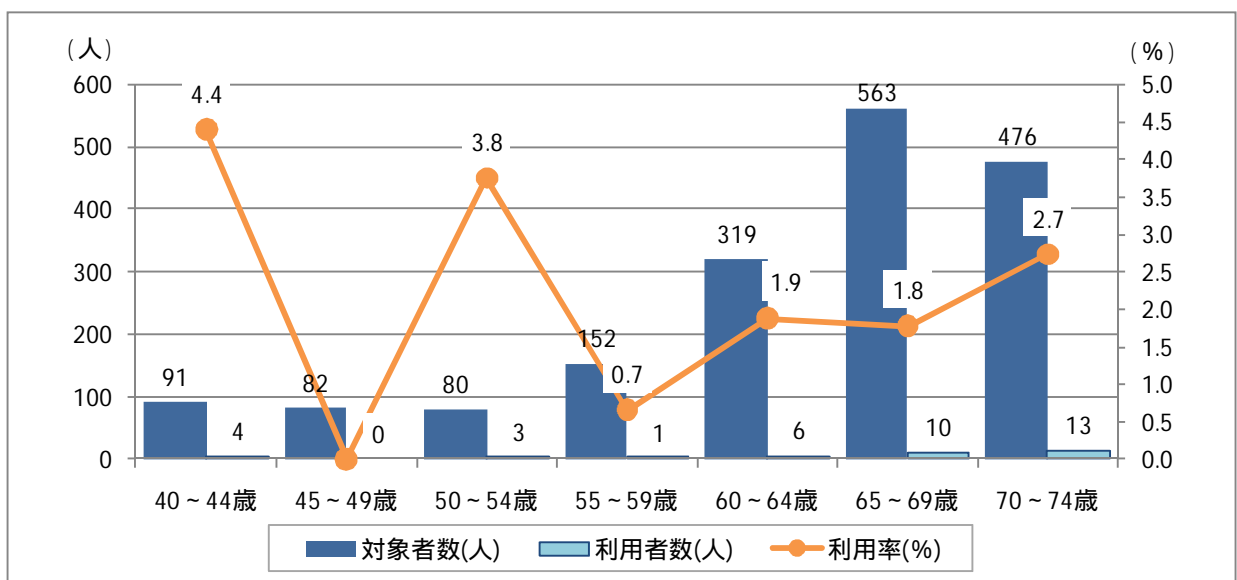
また支援区分別にみると、動機付け支援の利用者数は27人(対象者数1,326人)、利用率2.0%、積極的支援の利用者数は10人(対象者数437人)、利用率2.3%となっています。

【平成20年度(2008年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況(終了者)】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	81	4	4.9	10	0	0.0	91	4	4.4
45～49歳	66	0	0.0	16	0	0.0	82	0	0.0
50～54歳	60	2	3.3	20	1	5.0	80	3	3.8
55～59歳	91	0	0.0	61	1	1.6	152	1	0.7
60～64歳	179	3	1.7	140	3	2.1	319	6	1.9
65～69歳	352	6	1.7	211	4	1.9	563	10	1.8
70～74歳	311	9	2.9	165	4	2.4	476	13	2.7
合計	1,140	24	2.1	623	13	2.1	1,763	37	2.1

平成20年度(2008年度)法定報告より

【平成20年度(2008年度) 年齢別の特定保健指導利用状況(終了者)】



【平成20年度(2008年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況 動機付け支援】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	23	0	0.0	8	0	0.0	31	0	0.0
45～49歳	19	0	0.0	11	0	0.0	30	0	0.0
50～54歳	19	0	0.0	15	0	0.0	34	0	0.0
55～59歳	23	0	0.0	38	1	2.6	61	1	1.6
60～64歳	49	0	0.0	82	3	3.7	131	3	2.3
65～69歳	352	6	1.7	211	4	1.9	563	10	1.8
70～74歳	311	9	2.9	165	4	2.4	476	13	2.7
合計	796	15	1.9	530	12	2.3	1,326	27	2.0

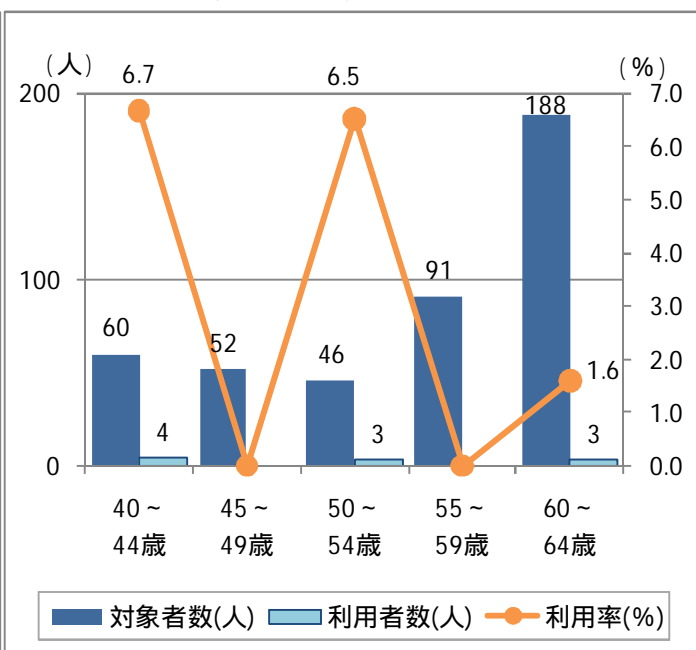
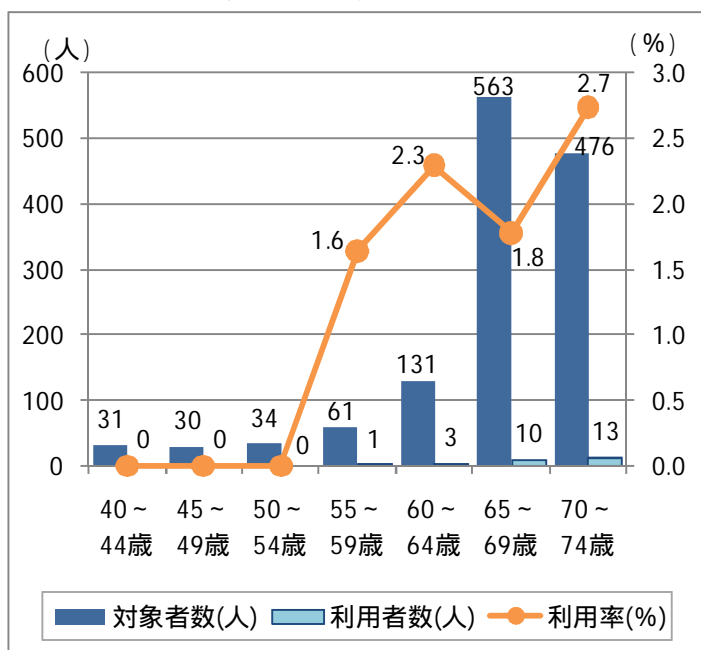
【平成20年度(2008年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況 積極的支援】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	58	4	6.9	2	0	0.0	60	4	6.7
45～49歳	47	0	0.0	5	0	0.0	52	0	0.0
50～54歳	41	2	4.9	5	1	20.0	46	3	6.5
55～59歳	68	0	0.0	23	0	0.0	91	0	0.0
60～64歳	130	3	2.3	58	0	0.0	188	3	1.6
合計	344	9	2.6	93	1	1.1	437	10	2.3

平成20年度(2008年度)法定報告より

65歳以上は、国の定めにより積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援になります。

【平成20年度(2008年度) 利用状況 動機付け支援】 【平成20年度(2008年度) 利用状況 積極的支援】



(2) 平成21年度(2009年度)の性別・年齢別の特定保健指導の利用状況

平成21年度(2009年度)の国保被保険者40～74歳の特定保健指導利用者数は、243人(対象者数1,884人)、利用率は12.9%と前年度に比べ10.8ポイント増加しています。性別では、男性12.4%、女性13.8%と前年に比べ男性は10.3ポイント、女性は11.7ポイント増加しており、女性が男性を1.4ポイントと上回っています。年齢別にみると、70歳以上の利用率が最も高くなっています。

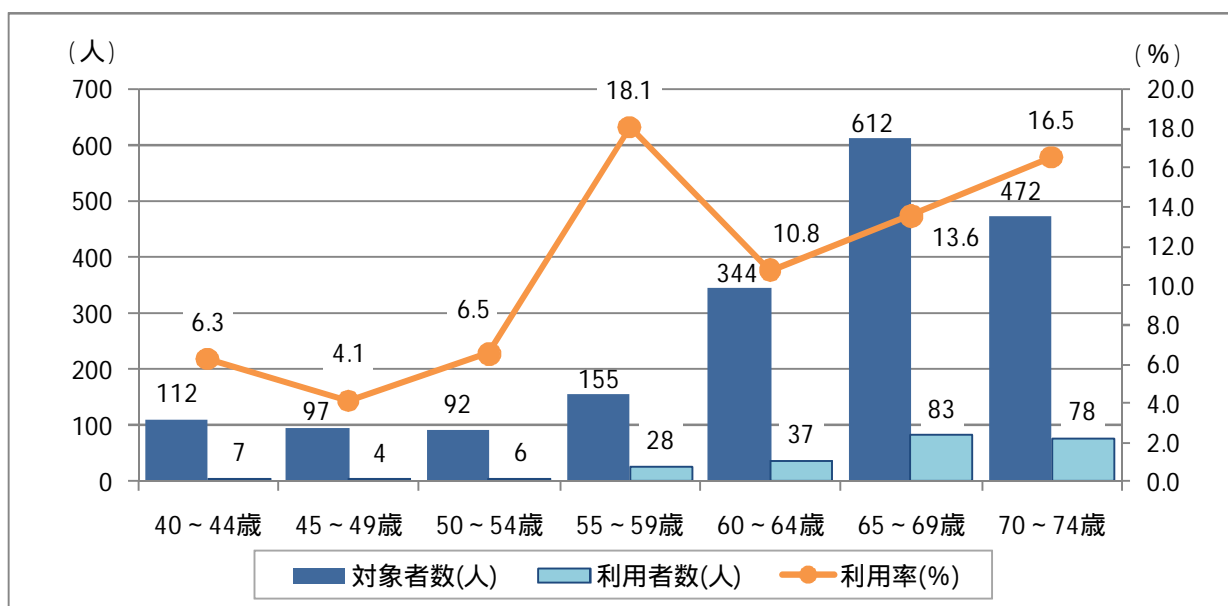
また支援区分別にみると、動機付け支援の利用者数は200人(対象者数1,410人)、利用率14.2%、積極的支援の利用者数は43人(対象者数474人)、利用率9.1%となっています。動機付け支援と積極的支援の利用率には5.1ポイントの差があります。

【平成21年度(2009年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況(終了者)】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	88	6	6.8	24	1	4.2	112	7	6.3
45～49歳	82	2	2.4	15	2	13.3	97	4	4.1
50～54歳	72	4	5.6	20	2	10.0	92	6	6.5
55～59歳	106	13	12.3	49	15	30.6	155	28	18.1
60～64歳	196	20	10.2	148	17	11.5	344	37	10.8
65～69歳	367	46	12.5	245	37	15.1	612	83	13.6
70～74歳	293	58	19.8	179	20	11.2	472	78	16.5
合計	1,204	149	12.4	680	94	13.8	1,884	243	12.9

平成21年度(2009年度)法定報告より

【平成21年度(2009年度) 年齢別の特定保健指導利用状況(終了者)】



【平成21年度(2009年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況 動機付け支援】

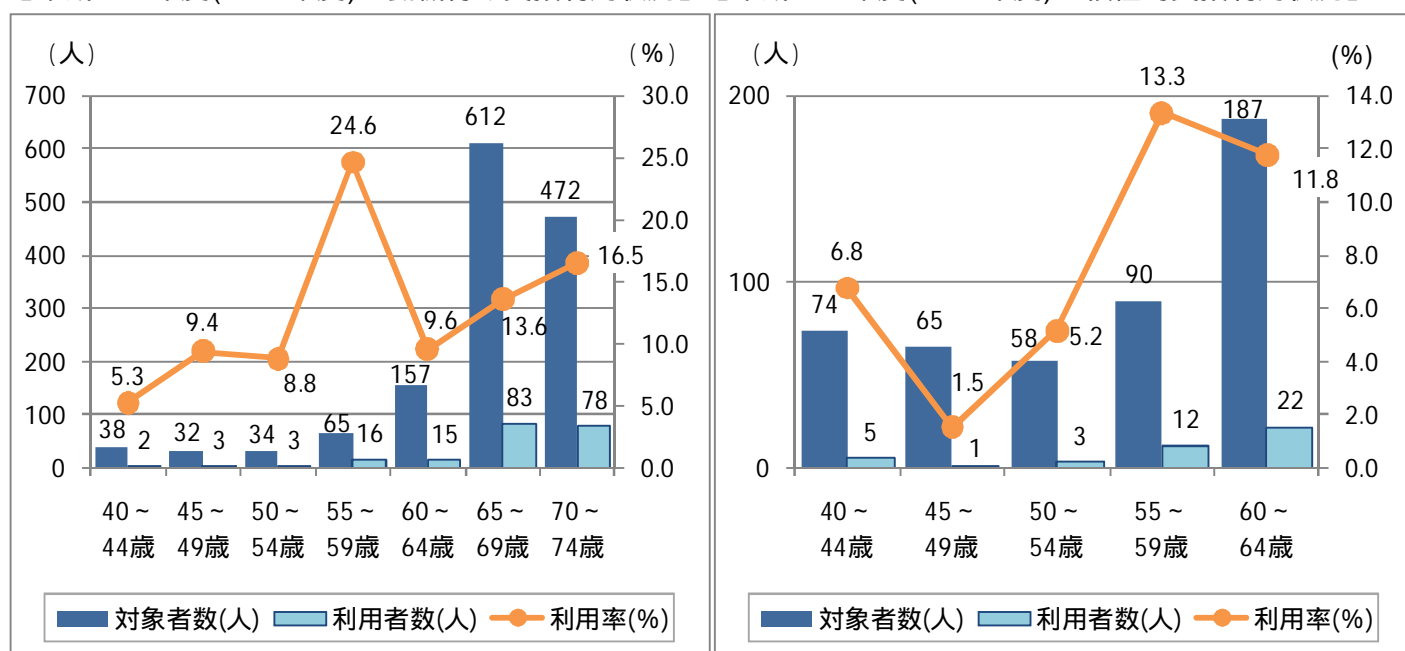
	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	23	1	4.3	15	1	6.7	38	2	5.3
45～49歳	25	1	4.0	7	2	28.6	32	3	9.4
50～54歳	20	1	5.0	14	2	14.3	34	3	8.8
55～59歳	28	4	14.3	37	12	32.4	65	16	24.6
60～64歳	64	4	6.3	93	11	11.8	157	15	9.6
65～69歳	367	46	12.5	245	37	15.1	612	83	13.6
70～74歳	293	58	19.8	179	20	11.2	472	78	16.5
合計	820	115	14.0	590	85	14.4	1,410	200	14.2

【平成21年度(2009年度) 性別・年齢別の特定保健指導利用状況 積極的支援】

	男性			女性			合計		
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
40～44歳	65	5	7.7	9	0	0.0	74	5	6.8
45～49歳	57	1	1.8	8	0	0.0	65	1	1.5
50～54歳	52	3	5.8	6	0	0.0	58	3	5.2
55～59歳	78	9	11.5	12	3	25.0	90	12	13.3
60～64歳	132	16	12.1	55	6	10.9	187	22	11.8
合計	384	34	8.9	90	9	10.0	474	43	9.1

平成21年度(2009年度)法定報告より

【平成21年度(2009年度) 動機付け支援利用状況】 【平成21年度(2009年度) 積極的支援利用状況】



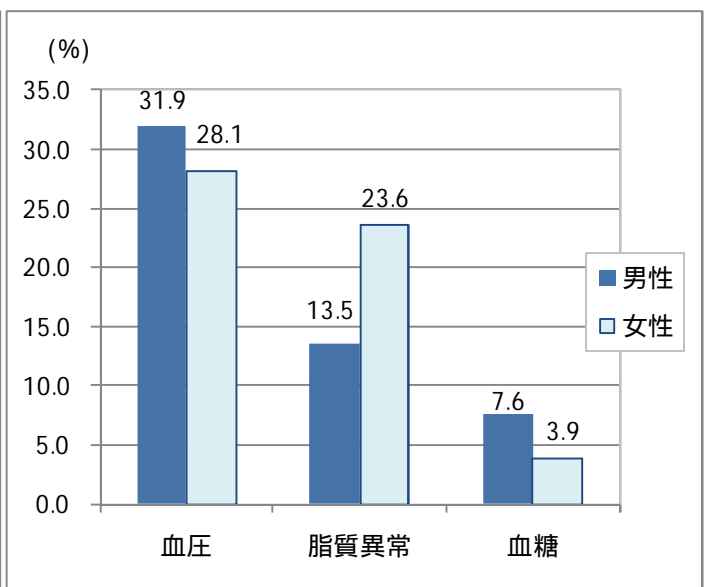
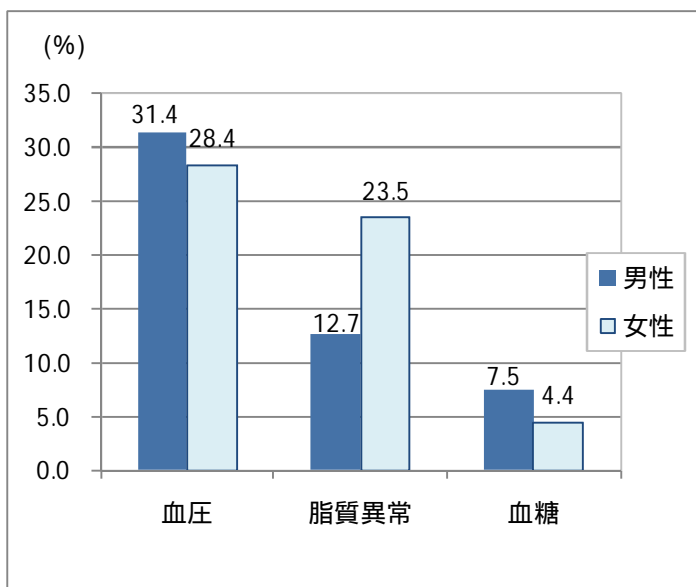
#### 4) 特定健康診査結果からみえる国保被保険者の健康状況

##### (1) 特定健康診査服薬者の割合

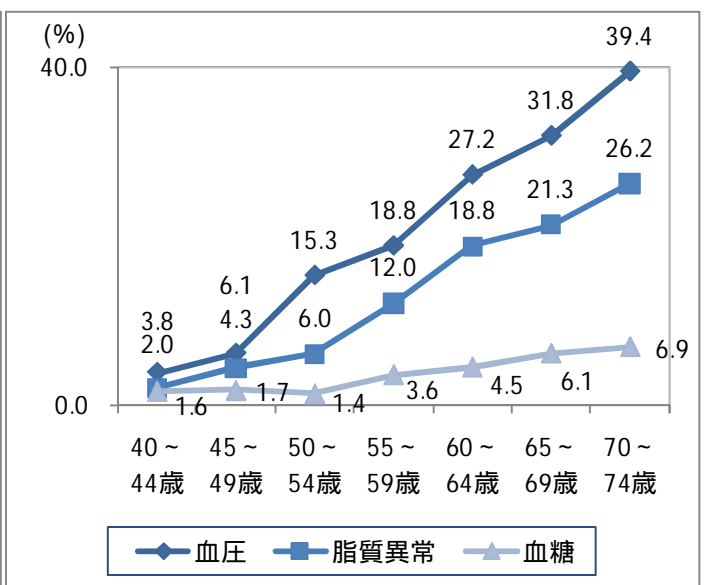
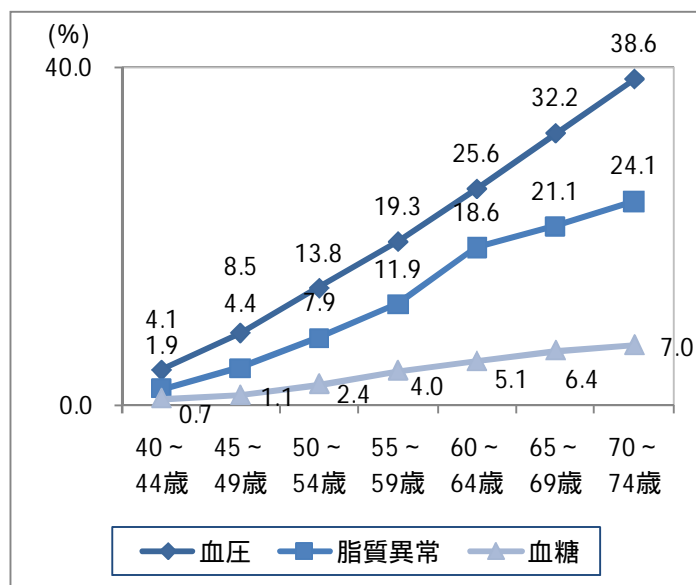
平成20年度(2008年度)の国保被保険者40～74歳の服薬者の割合は、高血圧29.6%、脂質異常19.2%、血糖5.7%、平成21年度(2009年度)の同割合は、高血圧29.6%、脂質異常19.6%、血糖5.3%となっています。

性別にみると、高血圧と血糖では女性より男性の服薬者の割合が高く、脂質異常では男性より女性の割合が高くなっています。年齢別にみると、70～74歳で高血圧の服薬者は受診者の約4割となっています。

【平成20年度(2008年度)性別の服薬者の割合】 【平成21年度(2009年度)性別の服薬者の割合】



【平成20年度(2008年度)年齢別の服薬者の割合】 【平成21年度(2009年度)年齢別の服薬者の割合】



血圧「血圧を下げる薬を服用中の者の数」、脂質異常「コレステロールを下げる(脂質異常症の)薬を服用中の者の数」、血糖「インスリン注射を使用又は血糖を下げる薬を服用中の者の数」

(2) 平成21年度(2009年度)特定健康診査データの有所見順位の状況

特定健康診査(平成21年度)検査項目の有所見(保健指導及び受診勧奨値)該当者の状況をみると、LDL コレステロール、HbA1c、血圧(収縮期)の順に多く、LDL コレステロールは受診者の6割となっています。

「各項目判定値」

検査項目名	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧(収縮期)	130mmHg 以上	140mmHg 以上
血圧(拡張期)	85mmHg 以上	90mmHg 以上
中性脂肪	150mg/dl 以上	300mg/dl 以上
HDL コレステロール	39mg/dl 以下	34mg/dl 以下
LDL コレステロール	120mg/dl 以上	140mg/dl 以上
空腹時血糖	100mg/dl 以上	126mg/dl 以上
HbA1c	5.2%以上	6.1%以上
AST(GOT)	31U/l 以上	51U/l 以上
ALT(GPT)	31U/l 以上	51U/l 以上
-GT ( -GTP)	51U/l 以上	101U/l 以上
血色素量 (ヘモグロビン値)	13.0g/dl 以上(男性) 12.0g/dl 以上(女性)	12.0g/dl 以上(男性) 11.0g/dl 以上(女性)

「有所見順位(服薬あり・服薬なしの合計)」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	LDL コレステロール	8,235	60.0%	3,461	42.0%	4,774	58.0%
第2位	HbA1c	7,427	54.1%	6,255	84.2%	1,172	15.8%
第3位	血圧(収縮期)	6,786	49.4%	2,981	43.9%	3,805	56.1%
第4位	腹囲	4,499	32.8%	4,499	-		
第5位	空腹時血糖	3,514	25.6%	2,787	79.3%	727	20.7%
第6位	BMI	3,140	22.9%	3,140	-		
第7位	中性脂肪	2,867	20.9%	2,529	88.2%	338	11.8%
第8位	-GT ( -GTP)	2,313	16.8%	1,605	69.4%	708	30.6%
第9位	AST (GOT)	1,981	14.4%	1,650	83.3%	331	16.7%
第10位	ALT (GPT)	1,944	14.2%	1,449	74.5%	495	25.5%

平成21年度(2009年度)特定健康診査全受診者13,732人(途中異動者・除外者・遅延報告者等を含む)を母数に算出、以下同じ

BMI = 「体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)」にて算出される体格指数。

「有所見順位（服薬あり）」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	HbA1c	3,609	26.3%	2,761	76.5%	848	23.5%
第2位	血压（収縮期）	3,433	25.0%	1,448	42.2%	1,985	57.8%
第3位	LDL コレステロール	3,026	22.0%	1,436	47.5%	1,590	52.5%
第4位	腹囲	2,331	17.0%	2,331	-		
第5位	空腹時血糖	1,882	13.7%	1,381	73.4%	501	26.6%
第6位	BMI	1,762	12.8%	1,762	-		
第7位	中性脂肪	1,365	9.9%	1,226	89.8%	139	10.2%
第8位	-GT（-GTP）	1,085	7.9%	748	68.9%	337	31.1%
第9位	AST（GOT）	973	7.1%	806	82.8%	167	17.2%
第10位	ALT（GPT）	968	7.0%	725	74.9%	243	25.1%

- 1 「有所見順位（血压 服薬あり）」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	血压（収縮期）	2,783	20.3%	1,125	40.4%	1,658	59.6%
第2位	HbA1c	2,533	18.4%	2,000	79.0%	533	21.0%
第3位	LDL コレステロール	2,240	16.3%	1,048	46.8%	1,192	53.2%
第4位	腹囲	1,879	13.7%	1,879	-		
第5位	BMI	1,433	10.4%	1,433	-		
第6位	空腹時血糖	1,405	10.2%	1,077	76.7%	328	23.3%
第7位	中性脂肪	1,030	7.5%	922	89.5%	108	10.5%
第8位	-GT（-GTP）	889	6.5%	601	67.6%	288	32.4%
第9位	AST（GOT）	742	5.4%	604	81.4%	138	18.6%
第10位	ALT（GPT）	734	5.3%	532	72.5%	202	27.5%

- 2 「有所見順位（血糖 服薬あり）」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	HbA1c	733	5.3%	192	26.2%	541	73.8%
第2位	空腹時血糖	520	3.8%	198	38.1%	322	61.9%
第3位	血圧（収縮期）	440	3.2%	168	38.2%	272	61.8%
第4位	腹囲	379	2.8%	379	-		
第5位	LDL コレステロール	348	2.5%	172	49.4%	176	50.6%
第6位	BMI	283	2.1%	283	-		
第7位	中性脂肪	209	1.5%	189	90.4%	20	9.6%
第8位	ALT（GPT）	169	1.2%	125	74.0%	44	26.0%
第9位	-GT（-GTP）	155	1.1%	97	62.6%	58	37.4%
第10位	AST（GOT）	128	0.9%	107	83.6%	21	16.4%

- 3 「有所見順位（脂質 服薬あり）」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	HbA1c	1,897	13.8%	1,502	79.2%	395	20.8%
第2位	血圧（収縮期）	1,512	11.0%	695	46.0%	817	54.0%
第3位	LDL コレステロール	1,308	9.5%	685	52.4%	623	47.6%
第4位	腹囲	1,029	7.5%	1,029	-		
第5位	空腹時血糖	852	6.2%	646	75.8%	206	24.2%
第6位	BMI	843	6.1%	843	-		
第7位	中性脂肪	699	5.1%	636	91.0%	63	9.0%
第8位	ALT（GPT）	484	3.5%	368	76.0%	116	24.0%
第9位	AST（GOT）	482	3.5%	407	84.4%	75	15.6%
第10位	-GT（-GTP）	444	3.2%	304	68.5%	140	31.5%

「有所見順位（服薬なし）」

	有所見項目	合計	受診者 割合	内訳			
				保健指導判定領域		受診勧奨領域	
				人数	割合	人数	割合
第1位	LDL コレステロール	5,209	37.9%	2,025	38.9%	3,184	61.1%
第2位	HbA1c	3,818	27.8%	3,494	91.5%	324	8.5%
第3位	血圧（収縮期）	3,353	24.4%	1,533	45.7%	1,820	54.3%
第4位	腹囲	2,168	15.8%	2,168	-		
第5位	空腹時血糖	1,632	11.9%	1,406	86.2%	226	13.8%
第6位	中性脂肪	1,502	10.9%	1,303	86.8%	199	13.2%
第7位	BMI	1,378	10.0%	1,378	-		
第8位	-GT（-GTP）	1,228	8.9%	857	69.8%	371	30.2%
第9位	AST（GOT）	1,008	7.3%	844	83.7%	164	16.3%
第10位	ALT（GPT）	976	7.1%	724	74.2%	252	25.8%

5) 今後の課題

特定健康診査の結果をみると、男性では40歳代ですでに、肥満、脂質異常、高血糖と何らかの健康課題を持つ人の割合が多く、内臓脂肪の減少につながる保健指導を積極的に働きかける必要があります。また、女性でも脂質異常、高血糖が40歳代から増加を示しており生活習慣病を予防するために、男性、女性ともに40・50歳代への重点的な保健指導を行う必要があります。

### 3 . 死因状況

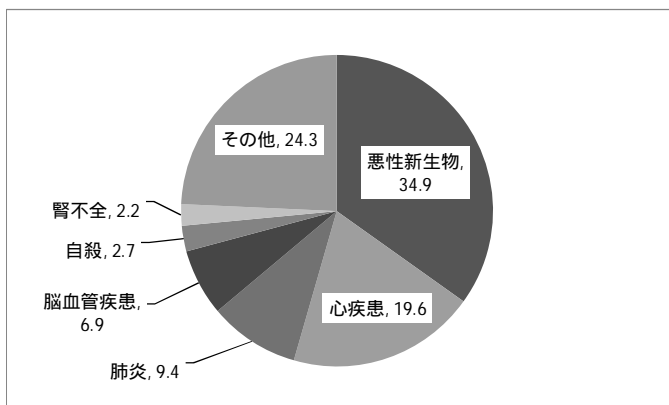
#### 1) 死因別人数と割合

本市における平成21年(2009年)1月から12月までの死亡原因をみると、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患の死因で6割を超えています。

また、大阪府に比べて悪性新生物、心疾患の死因全体に占める割合が高くなっています。

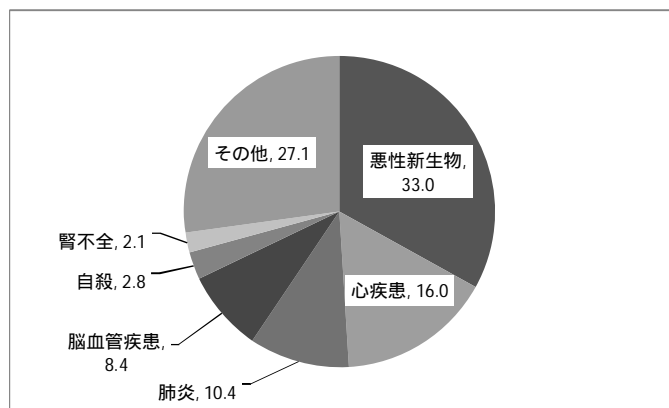
	人数(人)	割合(%)
悪性新生物	766	34.9
心疾患	430	19.6
肺炎	207	9.4
脳血管疾患	151	6.9
自殺	59	2.7
腎不全	48	2.2
その他	534	24.3
合計	2,195	100.0

【平成21年(2009年)八尾市死因別割合】



	人数(人)	割合(%)
悪性新生物	24,170	33.0
心疾患	11,711	16.0
肺炎	7,600	10.4
脳血管疾患	6,171	8.4
自殺	2,079	2.8
腎不全	1,554	2.1
その他	19,850	27.1
合計	73,135	100.0

【平成21年(2009年)大阪府死因別割合】



その他は死亡実人数から「悪性新生物～腎不全」人数合計を除いた値。

#### 2) 今後の課題

心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病を早期に発見または予防するために、特定健康診査や特定保健指導の更なる推進が必要です。また、各種がん検診との同時実施の取組みを進めます。

#### 4. レセプト（診療報酬明細書）からみる疾病別状況

##### 1) 虚血性心疾患、脳血管疾患等の状況

平成22年(2010年)6月審査分レセプトの生活習慣病の状況をみると、大阪府市町村計と比べて、脳血管疾患、糖尿病、高血圧の治療者数が多い状況です。

【平成22年(2010年)6月審査分 国民健康保険疾病別受診状況】

		大阪府(市町村計)			八尾市		
		治療件数 (件)	全件数に 占める割合 (%) 1,763,558件	被保険者数に 対する割合 (%) 2,625,924人	治療件数 (件)	全件数に 占める割合 (%) 58,046件	被保険者数に 対する割合 (%) 84,911人
平成22年 (2010年) 6月 審査分	虚血性心疾患	20,464	1.16	0.78	656	1.13	0.77
	脳血管疾患	29,035	1.65	1.11	1,012	1.74	1.19
	糖尿病	90,897	5.15	3.46	3,033	5.23	3.57
	高血圧症	265,213	15.04	10.10	8,877	15.29	10.45

出典：大阪府国民健康保険疾病統計

##### 2) 生活習慣病の状況

生活習慣病の受診割合として使用したデータは、平成22年(2010年)6月審査分レセプトから、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満症(\*)、人工透析(大阪府国民健康保険団体連合会が副傷病も含め抽出し再集計)の5疾病の合計実人数を1か月の受診実人数で割った値です。男性、女性ともに加齢に伴い増加していますが、男性では50歳以上から6割を超え、女性では50歳以上から4割を超えて急激に増加しています。

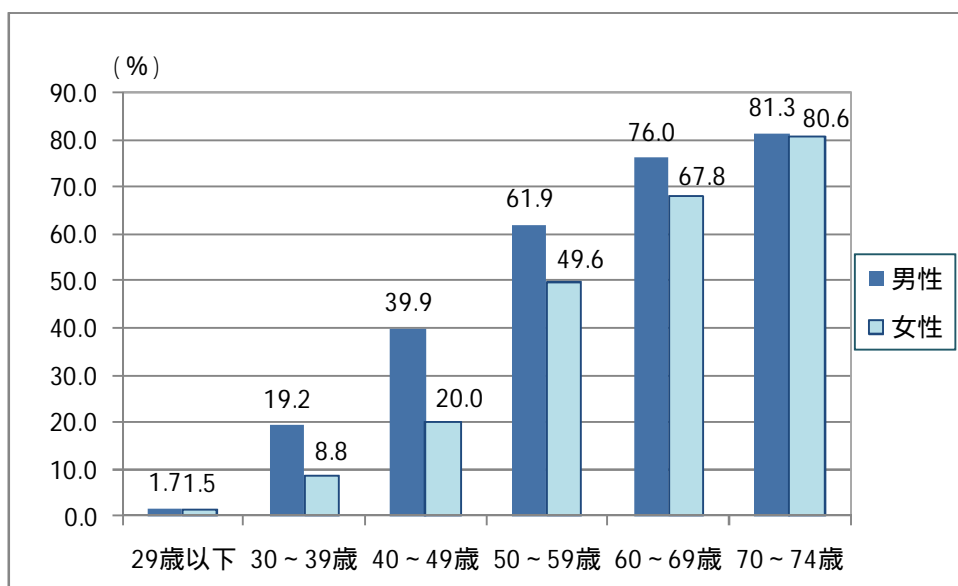
【平成22年(2010年)6月審査分 性別・年齢別の生活習慣病の受診状況】

	男性				女性			
	被保険者数 (人)	1か月の 受診実人数 (人)	生活習慣病		被保険者数 (人)	1か月の 受診実人数 (人)	生活習慣病	
			数 (人)	割合 (%)			数 (人)	割合 (%)
29歳以下	9,299	2,723	45	1.7	8,867	2,997	45	1.5
30~39歳	5,065	941	181	19.2	4,476	1,416	125	8.8
40~49歳	4,907	1,284	512	39.9	4,284	1,522	305	20.0
50~59歳	4,446	1,458	902	61.9	7,831	2,019	1,001	49.6
60~69歳	9,267	5,721	4,347	76.0	13,042	8,356	5,662	67.8
70~74歳	5,774	5,035	4,093	81.3	6,615	6,292	5,072	80.6
合計	38,758	17,162	10,080	58.7	45,115	22,602	12,210	54.0

割合(%) = 生活習慣病の人数 ÷ 1か月の受診実人数  
出典：大阪府生活習慣病医療費統計(以下同じ)

\*肥満症とは、医学的にみて健康障害につながる肥満の状態です。

【性別・年齢別の生活習慣病の受診割合】



3) 糖尿病の状況

糖尿病の割合は、平成22年(2010年)6月審査分レセプトから糖尿病の実人数を1か月の受診実人数で割った値です。高血圧、脂質異常症、肥満症、人工透析の割合は、糖尿病の実人数のなかで、それぞれの疾患を治療している人の割合を示しています。

糖尿病の受診割合が高いのは、男性、女性ともに70~74歳ですが、女性よりも男性の受診割合が高くなっています。糖尿病に加えて高血圧を治療している割合は50歳以上から、男性、女性ともに5割を超えています。糖尿病に加えて脂質異常症を治療している割合は、男性よりも女性が高くなっています。

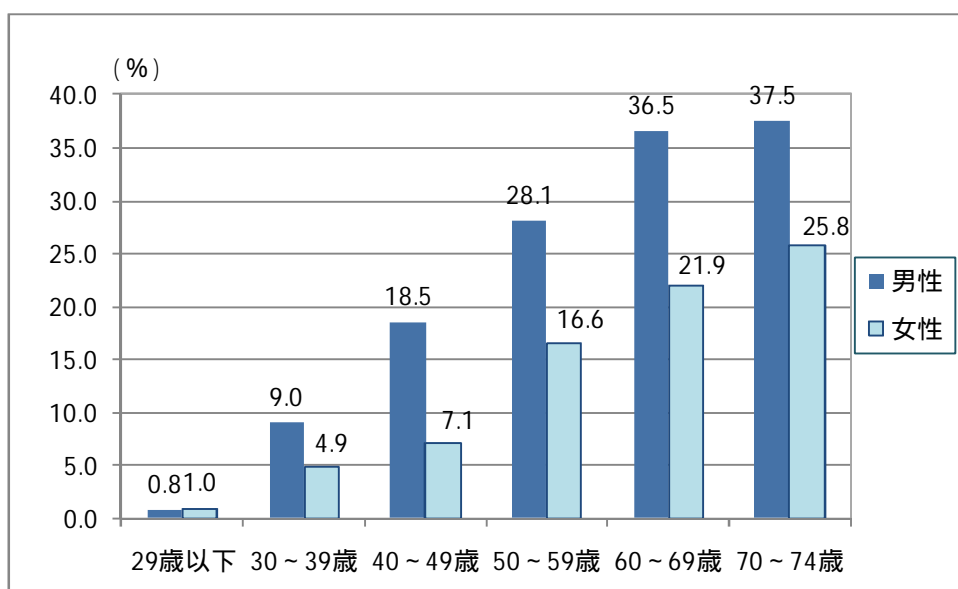
【男性の糖尿病(主傷病・副傷病)の高血圧、脂質異常症、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の受診実人数(人)	糖尿病		高血圧		脂質異常症		肥満症		人工透析	
		数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
29歳以下	2,723	22	0.8	3	13.6	5	22.7	1	4.5	0	0.0
30~39歳	941	85	9.0	17	20.0	23	27.1	0	0.0	0	0.0
40~49歳	1,284	238	18.5	102	42.9	106	44.5	2	0.8	6	2.5
50~59歳	1,458	409	28.1	215	52.6	168	41.1	6	1.5	16	3.9
60~69歳	5,721	2,091	36.5	1,229	58.8	759	36.3	10	0.5	32	1.5
70~74歳	5,035	1,886	37.5	1,143	60.6	632	33.5	5	0.3	20	1.1
合計	17,162	4,731	27.6	2,709	57.3	1,693	35.8	24	0.5	74	1.6
(再)40~74歳	13,498	4,624	34.3	2,689	58.2	1,665	36.0	23	0.5	74	1.6
(再)65~74歳	8,572	3,198	37.3	1,930	60.4	1,132	35.4	9	0.3	31	1.0

【女性の糖尿病（主傷病・副傷病）の高血圧、脂質異常症、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の 受診実 人数(人)	糖尿病		高血圧		脂質異常症		肥満症		人工透析	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,997	29	1.0	2	6.9	5	17.2	0	0.0	0	0.0
30～39歳	1,416	69	4.9	10	14.5	12	17.4	1	1.4	1	1.4
40～49歳	1,522	108	7.1	36	33.3	30	27.8	1	0.9	2	1.9
50～59歳	2,019	335	16.6	171	51.0	152	45.4	3	0.9	5	1.5
60～69歳	8,356	1,832	21.9	1,049	57.3	916	50.0	18	1.0	14	0.8
70～74歳	6,292	1,624	25.8	984	60.6	829	51.0	12	0.7	15	0.9
合計	22,602	3,997	17.7	2,252	56.3	1,944	48.6	35	0.9	37	0.9
(再)40～74歳	18,189	3,899	21.4	2,240	57.5	1,927	49.4	34	0.9	36	0.9
(再)65～74歳	11,304	2,753	24.4	1,616	58.7	1,400	50.9	21	0.8	20	0.7

【性別・年齢別の糖尿病受診割合】



#### 4) 高血圧の状況

高血圧の割合は、平成22年(2010年)6月審査分レセプトから高血圧の実人数を1か月の受診実人数で割った値です。糖尿病、脂質異常症、肥満症、人工透析の割合は、高血圧の実人数のなかで、それぞれの疾患を治療している人の割合を示しています。

高血圧の受診割合は加齢とともに高くなり、男性、女性ともに70～74歳が最も高くなっています。男性では50歳以上から4割を超え、女性では60歳以上から4割を超えています。高血圧に加えて脂質異常症を治療している割合は、男性よりも女性が高くなっています。

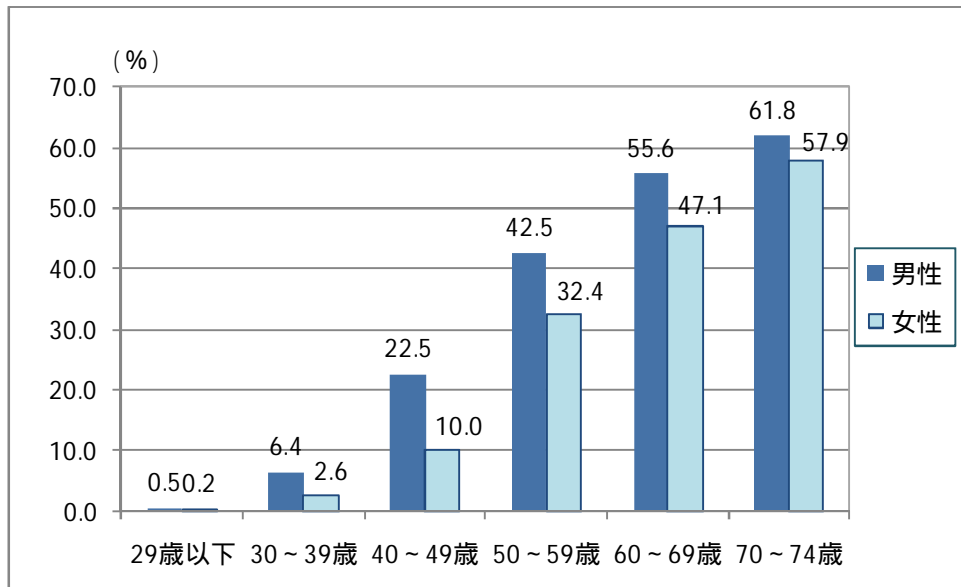
【男性の高血圧(主傷病・副傷病)の糖尿病、脂質異常症、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の 受診実 人数(人)	高血圧		糖尿病		脂質異常症		肥満症		人工透析	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,723	13	0.5	3	23.1	3	23.1	0	0.0	0	0.0
30～39歳	941	60	6.4	17	28.3	19	31.7	1	1.7	4	6.7
40～49歳	1,284	289	22.5	102	35.3	102	35.3	1	0.3	13	4.5
50～59歳	1,458	620	42.5	215	34.7	224	36.1	5	0.8	26	4.2
60～69歳	5,721	3,180	55.6	1,229	38.6	1,044	32.8	8	0.3	69	2.2
70～74歳	5,035	3,114	61.8	1,143	36.7	966	31.0	8	0.3	39	1.3
合計	17,162	7,276	42.4	2,709	37.2	2,358	32.4	23	0.3	151	2.1
(再)40～74歳	13,498	7,203	53.4	2,689	37.3	2,336	32.4	22	0.3	147	2.0
(再)65～74歳	8,572	5,136	59.9	1,930	37.6	1,637	31.9	11	0.2	74	1.4

【女性の高血圧(主傷病・副傷病)の糖尿病、脂質異常症、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の 受診実 人数(人)	高血圧		糖尿病		脂質異常症		肥満症		人工透析	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,997	6	0.2	2	33.3	2	33.3	0	0.0	0	0.0
30～39歳	1,416	37	2.6	10	27.0	6	16.2	1	2.7	1	2.7
40～49歳	1,522	152	10.0	36	23.7	33	21.7	1	0.7	7	4.6
50～59歳	2,019	655	32.4	171	26.1	230	35.1	1	0.2	14	2.1
60～69歳	8,356	3,932	47.1	1,049	26.7	1,753	44.6	30	0.8	33	0.8
70～74歳	6,292	3,642	57.9	984	27.0	1,721	47.3	16	0.4	21	0.6
合計	22,602	8,424	37.3	2,252	26.7	3,745	44.5	49	0.6	76	0.9
(再)40～74歳	18,189	8,381	46.1	2,240	26.7	3,737	44.6	48	0.6	75	0.9
(再)65～74歳	11,304	6,097	53.9	1,616	26.5	2,834	46.5	32	0.5	36	0.6

【性別・年齢別の高血圧受診割合】



5) 脂質異常症の状況

脂質異常症の割合は、平成22年(2010年)6月審査分レセプトから脂質異常症の実人数を1か月の受診実人数で割った値です。糖尿病、高血圧、肥満症、人工透析の割合は、脂質異常症の実人数のなかで、それぞれの疾患を治療している人の割合を示しています。

脂質異常症の受診割合は、男性は60~69歳、女性は70~74歳が最も高くなっています。脂質異常症に加えて高血圧を治療している割合は、男性では50歳以上から6割を超え、女性では50歳以上から4割を超えています。脂質異常症に加えて糖尿病を治療している割合は、女性よりも男性が高くなっています。

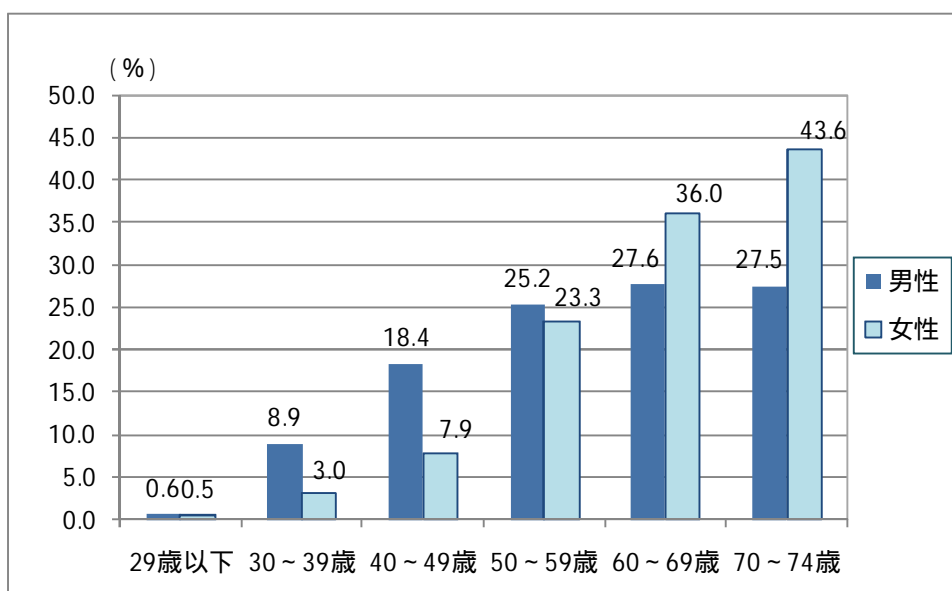
【男性の脂質異常症(主傷病・副傷病)の糖尿病、高血圧、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の受診実人数(人)	脂質異常症		糖尿病		高血圧		肥満症		人工透析	
		数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
29歳以下	2,723	17	0.6	5	29.4	3	17.6	1	5.9	0	0.0
30~39歳	941	84	8.9	23	27.4	19	22.6	4	4.8	1	1.2
40~49歳	1,284	236	18.4	106	44.9	102	43.2	3	1.3	2	0.8
50~59歳	1,458	368	25.2	168	45.7	224	60.9	6	1.6	7	1.9
60~69歳	5,721	1,578	27.6	759	48.1	1,044	66.2	6	0.4	4	0.3
70~74歳	5,035	1,385	27.5	632	45.6	966	69.7	6	0.4	7	0.5
合計	17,162	3,668	21.4	1,693	46.2	2,358	64.3	26	0.7	21	0.6
(再)40~74歳	13,498	3,567	26.4	1,665	46.7	2,336	65.5	21	0.6	20	0.6
(再)65~74歳	8,572	2,390	27.9	1,132	47.4	1,637	68.5	8	0.3	8	0.3

【女性の脂質異常症（主傷病・副傷病）の糖尿病、高血圧、肥満症、人工透析との重複状況】

	1か月の 受診実人数(人)	脂質異常症		糖尿病		高血圧		肥満症		人工透析	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,997	14	0.5	5	35.7	2	14.3	0	0.0	0	0.0
30～39歳	1,416	43	3.0	12	27.9	6	14.0	0	0.0	0	0.0
40～49歳	1,522	120	7.9	30	25.0	33	27.5	2	1.7	1	0.8
50～59歳	2,019	471	23.3	152	32.3	230	48.8	4	0.8	5	1.1
60～69歳	8,356	3,006	36.0	916	30.5	1,753	58.3	26	0.9	9	0.3
70～74歳	6,292	2,746	43.6	829	30.2	1,721	62.7	18	0.7	7	0.3
合計	22,602	6,400	28.3	1,944	30.4	3,745	58.5	50	0.8	22	0.3
(再)40～74歳	18,189	6,343	34.9	1,927	30.4	3,737	58.9	50	0.8	22	0.3
(再)65～74歳	11,304	4,643	41.1	1,400	30.2	2,834	61.0	34	0.7	12	0.3

【性別・年齢別の脂質異常症受診割合】



## 6) 人工透析の状況

人工透析の割合は、平成22年(2010年)6月審査分レセプトから人工透析の実人数を1か月の受診実人数で割った値です。糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満症の割合は、人工透析の実人数のなかで、それぞれの疾患を治療している人の割合を示しています。

人工透析の受診割合が高いのは、男性、女性ともに50～59歳ですが、女性よりも男性の受診割合が高くなっています。人工透析に至る要因のひとつである糖尿病の治療をしている割合は、男性では4割を超え、女性でもほぼ4割近くになっています。

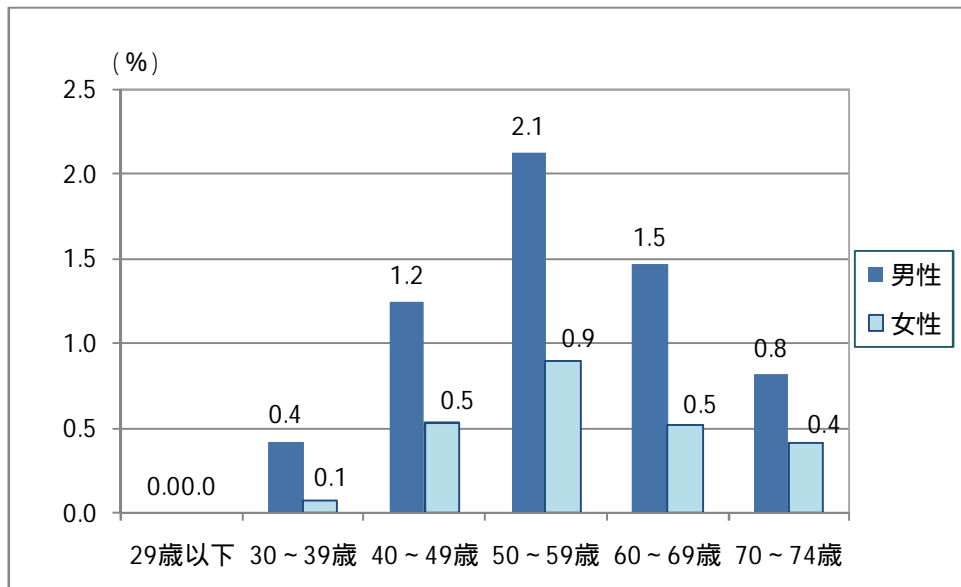
【男性の人工透析(主傷病・副傷病)の糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満症との重複状況】

	1か月の 受診実 人数(人)	人工透析		糖尿病		高血圧		脂質異常症		肥満症	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,723	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39歳	941	4	0.4	0	0.0	4	100.0	1	25.0	0	0.0
40～49歳	1,284	16	1.2	6	37.5	13	81.3	2	12.5	1	6.3
50～59歳	1,458	31	2.1	16	51.6	26	83.9	7	22.6	0	0.0
60～69歳	5,721	84	1.5	32	38.1	69	82.1	4	4.8	0	0.0
70～74歳	5,035	41	0.8	20	48.8	39	95.1	7	17.1	0	0.0
合計	17,162	176	1.0	74	42.0	151	85.8	21	11.9	1	0.6
(再)40～74歳	13,498	172	1.3	74	43.0	147	85.5	20	11.6	1	0.6
(再)65～74歳	8,572	79	0.9	31	39.2	74	93.7	8	10.1	0	0.0

【女性の人工透析(主傷病・副傷病)の糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満症との重複状況】

	1か月の 受診実 人数(人)	人工透析		糖尿病		高血圧		脂質異常症		肥満症	
		数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
29歳以下	2,997	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39歳	1,416	1	0.1	1	100.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
40～49歳	1,522	8	0.5	2	25.0	7	87.5	1	12.5	0	0.0
50～59歳	2,019	18	0.9	5	27.8	14	77.8	5	27.8	0	0.0
60～69歳	8,356	43	0.5	14	32.6	33	76.7	9	20.9	0	0.0
70～74歳	6,292	26	0.4	15	57.7	21	80.8	7	26.9	0	0.0
合計	22,602	96	0.4	37	38.5	76	79.2	22	22.9	0	0.0
(再)40～74歳	18,189	95	0.5	36	37.9	75	78.9	22	23.2	0	0.0
(再)65～74歳	11,304	44	0.4	20	45.5	36	81.8	12	27.3	0	0.0

【性別・年齢別の人工透析受診割合】



#### 7) 今後の課題

糖尿病、高血圧、脂質異常症を重複して治療している人が多い状況がみられ、特に男性では、既に40歳代で何らかの健康課題を抱えており早期の取組みが重要となっています。また、糖尿病の受診割合は女性に比べ男性が高くなっており、40歳以上では各年齢層で約10ポイント以上、女性を上回っています。

男性、女性ともに生活習慣病の受診割合は、加齢とともに増加していますが、生活習慣病の長い経過の中での発症を考慮すると、やはり40歳代からの生活習慣の改善が必要であり、日々の生活習慣を振り返る意味でも1年に1回の受診が重要となっています。

### 第3章 特定健康診査等の実施及び目標に関する事項

#### 1. 特定健康診査等の実績及び目標

##### 1) 特定健康診査・特定保健指導対象者等の年度推計総括表(平成20年3月度推計)

平成20年3月に策定された「八尾市国民健康保険 特定健康診査等実施計画」において設定された目標値は以下のとおりです。

目標年度(平成24年度(2012年度))に向けた年度別の40～74歳の人口推計及び特定健康診査対象者(国保被保険者)の推計を基に、年度ごとに設定した特定健康診査の受診率を乗じて、特定健康診査受診者数及び、保健指導対象者数を算出しています。

この保健指導対象者数に年度ごとに設定した保健指導利用率を乗じた数値が保健指導実施者数です。

【特定健康診査、特定保健指導の目標・推計値(改定前)】

改定前	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)
対象者年齢人口(人)	125,277	125,942	126,389	126,653	127,010
特定健康診査対象者(人)	59,098	59,722	59,997	59,828	59,799
特定健康診査受診者(人)	14,778	20,903	26,999	32,904	38,869
特定健康診査受診率目標(%)*	25	35	45	55	65
保健指導対象者(人)	3,231	4,656	6,081	7,444	8,815
動機付け支援(人)	2,258	3,187	4,083	4,886	5,750
積極的支援(人)	973	1,469	1,998	2,558	3,065
保健指導実施者(人)	812	1,400	2,129	2,978	3,967
動機付け支援(人)	567	959	1,430	1,956	2,587
積極的支援(人)	245	441	699	1,022	1,380
特定保健指導利用率目標(%)*	25	30	35	40	45
動機付け支援(%)*	25	30	35	40	45
積極的支援(%)*	25	30	35	40	45

\* 端数処理のため、必ずしも割合と人数(合計)が一致しない場合があります。

(平成20年度(2008年度)と比較した平成24年度(2012年度)のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の減少率目標を10%とします。)

2) 特定健康診査・特定保健指導実績及び目標(平成23年6月推計)

平成20年度(2008年度)から平成22年度(2010年度)までの特定健康診査及び特定保健指導の実績は以下のとおりです。受診率及び利用率の実績とともに平成19年度(2007年度)に設定された目標値と年々乖離が見られます。

平成23年度(2011年度)・24年度(2012年度)の目標値の再設定にあたっては、人口推計、特定健康診査対象者(被保険者)推計、特定健康診査受診者に占める特定保健指導対象者の出現率を見直し、新たな推計を行っています。

目標年次である平成24年度(2012年度)に向けた更なる取組みが必要になっています。

【特定健康診査・特定保健指導の実績及び目標・推計値(改訂後)】

改訂後	実績値			目標・推計値	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
対象者年齢人口(人)	126,139	126,940	127,398	127,892	128,267
特定健康診査対象者(人)	52,804	52,674	53,000	53,069	53,225
特定健康診査受診者(人)	11,749	13,060	13,000	29,188	34,596
特定健康診査受診率(%)	22.3	24.8	24.5	55	65
保健指導対象者(人)	1,763	1,884	1,730	4,211	4,991
動機付け支援(人)	1,326	1,410	1,310	3,152	3,735
積極的支援(人)	437	474	420	1,059	1,256
保健指導実施者(人)	37	243	190	1,685	2,246
動機付け支援(人)	27	200	160	1,261	1,681
積極的支援(人)	10	43	30	424	565
特定保健指導利用率(%)	2.1	12.9	11.0	40	45
動機付け支援(%)	2.0	14.2	12.2	40	45
積極的支援(%)	2.3	9.1	7.1	40	45

端数処理のため、必ずしも割合と人数(合計)が一致しない場合があります。

平成20年度(2008年度)～平成22年度(2010年度)の対象年齢人口は各年度末実績。

平成20年度(2008年度)～平成21年度(2009年度)の特定健診対象者は年度内資格喪失者を除く実績。

平成20年度(2008年度)～平成21年度(2009年度)の特定健康診査、特定保健指導実績は各年度法定報告資料より抜粋。平成22年度(2010年度)の実績値は平成23年5月現在の実績を基にした見込み。

### 3) 性別・年齢別の特定健康診査対象者数の推計

平成24年度(2012年度)までの性別・年齢別の特定健康診査対象者数の実績及び推計値は以下のとおりです。

【性別・年齢別の特定健康診査対象者数の実績及び推計】

	実績値						推計値			
	平成20年度 (2008年度)		平成21年度 (2009年度)		平成22年度 (2010年度)		平成23年度 (2011年度)		平成24年度 (2012年度)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)
40～64歳	12,762	14,250	12,534	13,939	12,581	13,890	12,628	14,044	12,665	14,085
65～74歳	11,907	13,885	11,983	14,218	11,710	14,819	12,073	14,324	12,108	14,367
合計	24,669	28,135	24,517	28,157	24,291	28,709	24,701	28,368	24,773	28,452

平成20年度(2008年度)～平成21年度(2009年度)の実績値は各年度法定報告資料より抜粋。

平成22年度(2010年度)の実績値は平成23年(2011年)5月現在の実績を基にした見込み、以下同じ。

### 4) 性別・年齢別の特定健康診査受診者数の推計

平成24年度(2012年度)までの性別・年齢別の特定健康診査受診者数の実績及び推計値は以下のとおりです。年度ごとに設定した目標受診率を対象者数に乗じて推計しています。

【性別・年齢別の特定健康診査受診者数の実績及び推計】

	実績値						推計値			
	平成20年度 (2008年度)		平成21年度 (2009年度)		平成22年度 (2010年度)		平成23年度 (2011年度)		平成24年度 (2012年度)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)
40～64歳	1,527	2,656	1,761	2,999	1,718	2,824	3,936	6,703	4,665	7,944
65～74歳	3,118	4,448	3,390	4,910	3,341	5,117	7,576	10,973	8,980	13,007
合計	4,645	7,104	5,151	7,909	5,059	7,941	11,512	17,676	13,645	20,951

### 5) 性別・年齢区分の特定保健指導階層別対象者数の推計

平成24年度(2012年度)までの性別・年齢別の特定保健指導階層化別対象者数の実績及び推計値は次頁のとおりです。

本市の特定健康診査で「動機付け支援」「積極的支援」が現れた出現率を基に推計しています。

【性別・年齢区分の特定保健指導階層別対象者数「動機付け支援」の実績及び推計】

	実績値						推計値			
	平成 20 年度 (2008 年度)		平成 21 年度 (2009 年度)		平成 22 年度 (2010 年度)		平成 23 年度 (2011 年度)		平成 24 年度 (2012 年度)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)
40～64 歳	133	154	160	166	149	154	358	371	424	440
65～74 歳	663	376	660	424	613	394	1,475	948	1,748	1,123
合計	796	530	820	590	762	548	1,833	1,319	2,172	1,563

【性別・年齢区分の特定保健指導階層別対象者数「積極的支援」の実績及び推計】

	実績値						推計値			
	平成 20 年度 (2008 年度)		平成 21 年度 (2009 年度)		平成 22 年度 (2010 年度)		平成 23 年度 (2011 年度)		平成 24 年度 (2012 年度)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)
40～64 歳	344	93	384	90	340	80	858	201	1,018	238
65～74 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6) 性別・年齢別の特定保健指導実施者数の推計

平成 24 年度(2012 年度)までの性別・年齢別の特定保健指導実施者数の実績及び推計値は以下のとおりです。

本市の特定健康診査で「動機付け支援」「積極的支援」が現れた出現率を基に推計しています。

【性別・年齢区分の特定保健指導実施者数の実績及び推計】

	実績値						推計値			
	平成 20 年度 (2008 年度)		平成 21 年度 (2009 年度)		平成 22 年度 (2010 年度)		平成 23 年度 (2011 年度)		平成 24 年度 (2012 年度)	
	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)	男性 (人)	女性 (人)
40～64 歳	9	5	45	37	33	28	404	266	539	353
65～74 歳	15	8	104	57	83	46	656	359	874	480
合計	24	13	149	94	116	74	1,060	625	1,413	833

## 2 . 特定健康診査の実施方法

### 1 ) 対象者

本市国民健康保険被保険者のうち、実施年度中に40～74歳になる方を対象に年1回実施します。ただし、実施年度の初日(4月1日)現在加入しており、受診日現在も加入している方に限ります。

なお、次に該当する方は対象外となります。

妊産婦

海外在住者

病院または診療所に6か月以上継続して入院している方

障害者自立支援法に規定する障害者自立支援施設に入所している方

老人福祉法に規定する養護老人ホーム、または、特別養護老人ホームに入所している方

刑事施設・労役場その他これらに準ずる施設に拘禁されている方

その他国等が指定する対象者

### 2 ) 健診項目

健診項目は、従来実施してきた糖尿病などの生活習慣病、とりわけメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群を減少させるため、保健指導が必要な方を的確に抽出するための検査項目とします。

全ての対象者に実施する「基本的な健診」と医師が必要と判断した場合のみ実施する「詳細な健診」の検査項目及び判断基準は次頁のとおりです。

国の基準検査項目に加えて、糖尿病の早期発見・重症化予防のため、HbA1c検査を実施します。

### 基本的な健診

検査項目		国の基準	八尾市実施項目
問診			
身体計測	身長		
	体重		
	B M I		
	腹囲		
診察（理学的検査）			
血圧測定			
検査 検尿	尿糖		
	尿蛋白		
検査 血中脂質	H D L コレステロール		
	L D L コレステロール		
	中性脂肪		
検査 肝機能	G O T		
	G P T		
	- G T P		
検査 血糖	血糖	いずれかで可	
	H b A 1 c		

腹囲の測定については、次のいずれかに該当する方は医師が必要でないと認めた場合、省略できることとします。

- ア) B M I が 2 0 未満の方
- イ) B M I が 2 2 未満で自ら腹囲を測定し、その値を申告した方
- ウ) 内臓脂肪面積の測定をされた方

### 詳細な健診項目

検査項目		国の基準	八尾市実施項目
心電図検査			
眼底検査			
貧血検査	赤血球数		
	ヘモグロビン値		
	ヘマトクリット値		

貧血検査は貧血の既往歴を有する方、または、視診等で貧血が疑われる方、心電図・眼底検査は前年度の特定健康診査等の結果に基づいて、医師が判断した方に実施します。

心電図・眼底検査は、下記すべての条件を満たす方に実施します。

検査項目	判断条件
血糖検査	空腹時血糖値が100mg/dl以上、 または、HbA1cが5.2%以上
血中脂質検査	中性脂肪150mg/dl以上、または、 HDLコレステロール40mg/dl未満
血圧測定	収縮期130mmHg以上、または、 拡張期85mmHg以上
肥満度測定	～ のいずれかの方 腹囲が男性85cm以上・女性90cm以上 内臓脂肪面積100cm <sup>2</sup> 以上 BMI 25以上

### 3) 実施場所

集団健診  
八尾市保健センターなど  
個別健診  
大阪府内の取扱医療機関

### 4) 受診方法

対象となる方には毎年特定健康診査受診券を送付します。受診券と被保険者証を持参し、実施機関で受診していただきます。

### 5) 利用者負担

1,000円(非課税世帯及び、65歳以上の方は無料)

### 6) 実施時期

4月1日から翌年3月31日(通年実施)

### 7) 他の健診との同時実施について

特定健康診査の実施にあたり、受診者の利便性を考慮し、介護保険法による65歳以上の高齢者を対象とした介護予防事業に関する検査との同時実施に努めます。また、健康増進事業である各種がん検診等や腎機能検査(尿酸・血清クレアチニン)についても同時実施の取組みを進めます。

### 3. 特定保健指導の実施方法

#### 1) 対象者

特定健康診査の結果を基に、「情報提供対象者」「動機付け支援対象者」「積極的支援対象者」にそれぞれ階層化します。動機付け支援、積極的支援の対象となった方には、特定保健指導利用券を送付します。

#### 2) 実施内容

##### 情報提供

健診結果とともに受診者自らが現在の健康状態を把握し、健康的な生活を送るための生活習慣の見直しや改善のきっかけとなる情報を提供します。

##### 動機付け支援

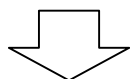
受診者自らが生活の改善点に気づき、目標設定をして実行に移すことができるよう、医師・保健師・管理栄養士等が初回面接を行い、サポートします。約6か月間で目標が達成できたか、体や生活習慣に変化がみられたか等の状況把握を実施します。

##### 積極的支援

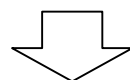
医師・保健師・管理栄養士等の初回面接で健康状態を把握し、プログラムを作成して、3～6か月間継続的に目標を実行するためのサポートをします。目標が達成できたか、体や生活習慣に変化がみられたか等の状況把握を実施します。

#### 【特定保健指導の階層化方法】

a、bのいずれかに該当すれば1点を記入		
血糖	脂質	血圧
a.空腹時血糖 : 100mg/dl以上	a.中性脂肪 : 150mg/dl以上	a.収縮期血圧 : 130mmHg以上
b.ヘモグロビンA1c : 5.2%以上	b.HDLコレステロール : 40mg/dl未満	b.拡張期血圧 : 85mmHg以上
点	点	点



上記 から が1点以上の場合で喫煙歴があれば更に1点を加算



合計点
点

	0点	1点	2点	3点
腹囲 男性：85cm以上 女性：90cm以上 または、内臓脂肪面積が 100cm <sup>2</sup> 以上	情報提供	動機付け 支援	積極的 支援	積極的 支援
腹囲 男性：85cm未満 女性：90cm未満 または、内臓脂肪面積が 100cm <sup>2</sup> 未満 かつ、BMI：25以上	情報提供	動機付け 支援	動機付け 支援	積極的 支援
、 どちらでもない	情報提供	情報提供	情報提供	情報提供

ただし、65～74歳の方は積極的支援は行わず、動機付け支援となります。また、血圧、血糖、コレステロールを下げる薬を服薬中の方は、情報提供の対象となります。

### 3) 利用方法

対象となる方には、健診結果とともに特定保健指導利用券を送付します。利用券と被保険者証を持参し、保健指導実施場所で利用していただきます。

### 4) 実施場所

本市の委託基準を満たす事業者への委託により実施します。

### 5) 利用者負担

無料

### 6) 実施期間

4月1日から翌年3月31日

## 4 . 受診率向上の取組み

### 1 ) 広報啓発活動

地域での健診PR及び健康相談や関係機関・施設(医療機関及び市関係施設)等でのパンフレット配布及びポスターの掲示、関係機関への各種健診・保健指導の説明会等の実施を保健推進課等と連携して実施します。

### 2 ) 未受診者への受診勧奨

コールセンターを活用し、未受診者に対する電話勧奨を実施します。実施にあたっては保健師等の専門職を活用し、より効果的な方法を検討します。また、各年9月頃に未受診と思われる被保険者に対し、受診勧奨ハガキを発送し、受診への働きかけを行います。

### 3 ) 年度途中加入者への働きかけ

実施年度の4月2日以降に本市国民健康保険被保険者となった方に特定健康診査受診券を送付して受診の習慣化を図り、次年度以降の受診へつなげます。

### 4 ) 事業実施体制の強化

健診事業を担当する保健推進課に一部事務を委任し、国保保健事業を担当する健康保険課との2課連携協力体制で事業実施にあたります。

## 5 . 個人情報保護に関する事項

### 1 ) 費用決済、データの授受及び管理について

特定健康診査・特定保健指導を効果的・効率的に実施するために、実施における費用の決済や、健診機関から送付された健診・保健指導データの管理に関する事務処理などの業務を、大阪府国民健康保険団体連合会に委託します。情報の厳重な管理や目的外の使用の禁止などを契約書に定めるとともに、契約順守状況についても厳格に管理します。

### 2 ) 個人情報保護対策

「個人情報の保護に関する法律」及びこれに基づくガイドラインや「八尾市個人情報保護条例」等を順守し、適正に個人情報を取り扱います。

#### ( 1 ) 本市で管理する個人情報について

個人情報については、「八尾市個人情報保護条例」の規定に基づき端末機器の操作に当たって、ユーザーIDやパスワードにより操作者を限定するとともに、個人情報に係る帳票類は施錠保管する等情報の漏洩がないよう厳重に注意します。

また、生活習慣病の対策や本事業の評価のため、特定健康診査・特定保健指導の結果や記録を分析する場合は、個人を特定できないよう匿名化するとともに、必要な情報に限りデータの集計・分析を行います。

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいた、個人または事業主からの特定健康診査等のデータの授受に関しても、適正に個人情報を取り扱います。

#### ( 2 ) 外部委託を行った事業者が扱う個人情報について

「八尾市個人情報保護条例」及び「事業者が保有する個人情報の取り扱いに関する指針」等に基づき、情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、契約順守状況を厳重に管理します。

## 6 . 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

本計画については、市政だより・ホームページ・パンフレット等で周知を図ります。

## 7 . 特定健康診査等実施計画の評価

### 1 ) 目標の達成状況の評価

特定健康診査の受診率・特定保健指導対象者の割合・特定保健指導の利用率・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の減少率(平成21年度(2009年度)～)の分析等で評価を行います。

### 2 ) 事業の評価

特定健康診査の結果や特定保健指導利用者の6か月後の評価である腹囲や体重等のデータを分析し、アウトカム評価により事業の評価を行います。また、事業の効率的な改善を図るため、実施体制や実施過程・実施量に関する評価を行います。

( 参考資料 )

「高齢者の医療の確保に関する法律」第19条にて特定健康診査等実施計画を定めるものとされている。

	特定健康 診査等 基本指針	記載すべき 事項	主に定めるべき内容
第2項 第二号	第四の一	達成しようとする目標	特定健康診査の実施率、特定保健指導の実施率及びメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者・予備群の減少率に係る目標
第2項 第一号	第四の二	特定健康診査等の対象者	特定健康診査等の対象者数（事業主健診の受診者等を除外した保険者として実施すべき数）の見込み（計画期間中の各年度の見込み数）を推計
	第四の三	特定健康診査・特定保健指導の実施方法	実施場所、実施項目、実施時期あるいは期間 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1 外部委託の有無や契約形態、外部委託者選定に当たっての考え方</li> <li>- 2 周知や案内(受診券や利用券の送付等)の方法</li> <li>- 3 特定保健指導の対象者の抽出（重点化）の方法</li> <li>- 4 実施に関する毎年度の年間スケジュール、等</li> </ul>
第2項 第三号	第四の四	個人情報の保護	健診・保健指導データの保管方法や保管体制、保管等における外部委託の有無、等
第3項	第四の五	特定健康診査等実施計画の公表・周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1 広報誌やホームページへの掲載等による公表や、その他周知の方法</li> <li>- 2 特定健康診査等を実施する趣旨の普及啓発の方法</li> </ul>
第2項 第三号	第四の六	特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	評価結果(進捗・達成状況等)や、その後の状況変化等に基づく計画の見直しに関する考え方
	第四の七	その他、特定健康診査等の円滑な実施を確保するために保険者が必要と認める事項	

---

---

八尾市国民健康保険  
特定健康診査等実施計画  
第 1 期 (改訂版)

平成 2 0 年度 (2008 年度) ~ 平成 2 4 年度 (2012 年度)

---

発行日 平成 2 3 年 6 月 2 4 日

発 行 八尾市

〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目 1 番 1 号  
電話 (072) 924-3865 (直通)

編 集 八尾市 健康福祉部 健康保険課